

心エコー検査を受けられる患者様へ

当日の検査の流れについて

検査時は担当する技師が声掛けしていきます。
検査の流れは以下のようになっていますので、ご参考ください。

- ①検査室のご案内いたします。
患者間違い防止のため、氏名等のご確認にご協力よろしくお願い致します。
- ②ベッドに横向きに寝ていただいて、服を胸元まで上げます。
- ③心電図モニターを、右手と右足に装着します。(下記写真参考)
- ④左手は、頭上に位置させます。
- ⑤胸元に超音波装置を当てて、心臓の動きをみていきます。
適宜、息止めの声かけをしますので、ご協力よろしくお願い致します。
- ⑥約20～30分程で検査を終わります。(個人差がございます)



※当日は検査を先にさせて頂いてから、医師の診察になります。
当日、気になる症状等がございましたら、検査前に技師にお声掛けください。

服装についてお願い

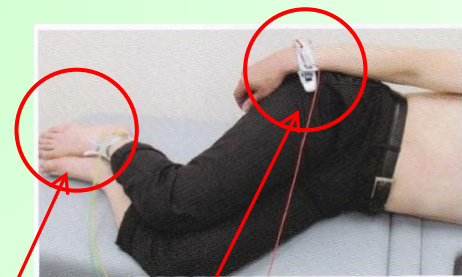
検査がスムーズに開始・終了出来るよう、ご協力お願い致します。

胸元が出せる服装 (上下が繋がっていない服装)

- ※ “ワンピース” や “つなぎ” はご遠慮願います。
- ※ ご希望の方は、上半身の検査衣をご用意します。

足首が出せるような格好 (靴下、レギンスなど)

- ※ “タイツ” や “ストッキング” は避けて下さい。



右手・右足に心電図モニターを装着します。

食事・飲水制限などはありません。いつも通りで大丈夫です。

ID: _____ 様

検査予約日時: _____ 月 _____ 日() _____ : _____ ~

都合が悪くなったり、質問等がございましたら当院へご連絡いただくか、お気軽にスタッフまで声を掛けてください。

心エコー検査(心臓の超音波検査)とは

心臓のしくみ

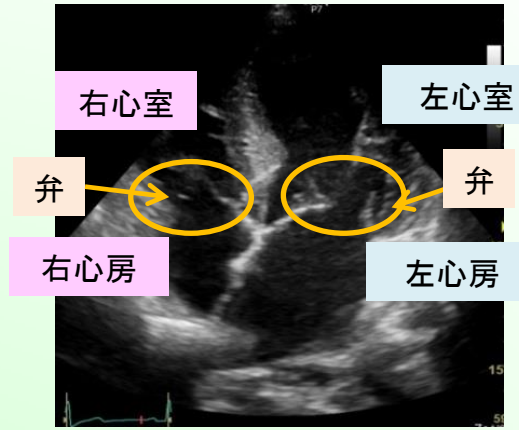
心臓は4つの部屋に分かれており、それぞれ

- ①右心房(うしんぼう) ②右心室(うしんしつ)
- ③左心房(さしんぼう) ④左心室(さしんしつ)

となっています【写真1】。血液は、

右心房→右心室→肺→左心房→左心室→全身へと流れ、
そしてまた右心房へ戻ってきます。

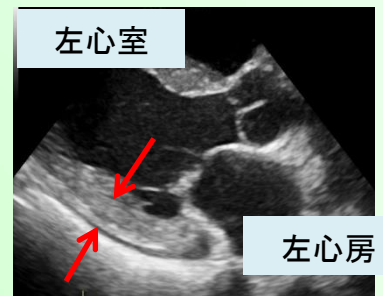
4つの部屋の間には弁(べん)という扉があり、送り出した血液が
逆流してこないようにするはたらきがあります。



【写真1】

検査で得られる情報

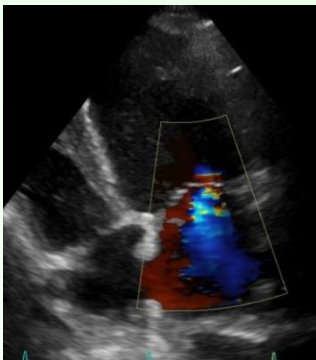
- ・4つの部屋の大きさや形、壁の動き【写真4】や厚み【写真2】など
- ・それぞれの弁(扉)の動きや形
- ・流れる血液の向き、量、速度
- ・腫瘍(細胞のかたまり、がん細胞など)や血栓(血のかたまり)の有無



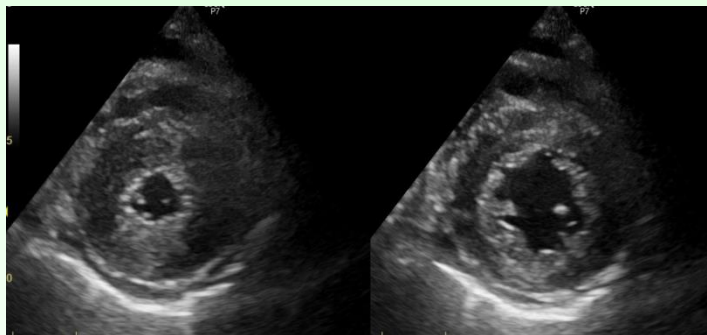
【写真2】 壁が厚い

分かる病気などの一例

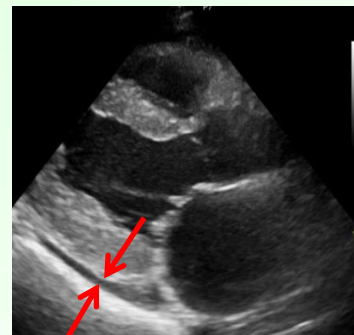
- ・壁の動きが悪い → 心筋梗塞、心筋虚血
…心臓を栄養している周りの血管が詰まったり細くなって、心臓の
筋肉(=壁)が動かなくなっている状態。
- ・逆流がみられる → 閉鎖不全症、弁逸脱症 など
…そこにある弁が閉まりきっていない状態。【写真3】
石灰化があったり、弁同士がくっついている場合もある。
- ・血流が異常に速い → 弁の狭窄症、壁の張り出し など
…弁の開きが悪かったり、壁が分厚くなって、流れる道筋が狭くなっている。



【写真3】 青で示すのが
逆流を示すジェット流



【写真4】 左心室を輪切りにした写真。
収縮(図左)⇔拡張(図右)を繰り返す。
こちらは正常な動き。



【写真5】 心臓のまわりに
水がたまっている。